

中野区感染症発生動向調査情報集計結果の送付について

中野区の令和5年第51週（12月18日～12月24日）分情報、東京都・全国情報を下記のとおり送付いたします。中野区分につきましては最新の情報を提供しております。なお、速報性を優先していますので調査結果によっては、後日、情報が訂正されることがあります。

- |   |
|---|
| <p>1 中野区集計</p> <p>① 全数届出患者数一覧（中野区届出分）</p> <p>② 定点把握対象疾患集計（中野区届出分）</p> <p>2 東京都感染症情報センター 感染症週報（第50週）</p> <p>3 厚生労働省/国立感染症研究所 IDWR感染症週報（第49週）</p> |
|---|

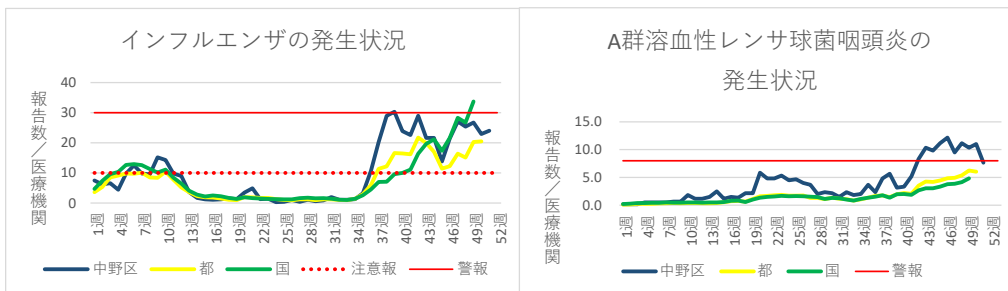
区内定点よりの調査票通信（第51週速報）

- ・今週の新型コロナウイルス感染症の定点報告数は44人、定点当たり4.4でした。
- ・今週のインフルエンザの定点報告数は240人、定点当たり24.0でした。
- ・今週の咽頭結膜炎の定点報告数は8人、定点当たり1.3でした。
- ・今週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点報告数は46人、定点当たり7.7でした。

コメント

○今週は2類の結核の届出が2件（90代男性・結核性胸膜炎、50代女性・肺結核）ありました。

○今週は5類の梅毒の届出が1件（50代男性、早期顕症梅毒Ⅱ期、異性間性的接触（推定））ありました。



○中野区内及び東京都内のインフルエンザの定点当たりの報告数は、注意報レベルが続いています。

○中野区内のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たりの報告数は、前週より減少しましたが、依然として高い傾向にあります。東京都内では第50週（12月11日～12月17日）に警報レベルに達しました。潜伏期間は2～5日で発熱、咽頭発赤、莓状の舌等の症状があり、しばしば嘔吐を伴います。学童期の小児に多いとされ、中野区内では5歳～9歳の報告数が全体のおよそ60%占めています。予防には手洗いや手指消毒、咳エチケットが有効です。咽頭痛がある場合には早めに医療機関を受診し、検査を受けてください。

●東京都内の咽頭結膜熱の定点当たりの報告数は、**警報レベルが続いています**。原因となるアデノウイルスはアルコール消毒が効きにくいいため、こまめな手洗いや咳エチケットが大切です。

①-1 全数届出患者数一覧（中野区届出分） 一類から四類感染症まで

分類	疾病名	47週	48週	49週	50週	51週	2023年 報告数
一類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう（天然痘）						
	南米出血熱						
	ペスト						
	マールブルグ病						
	ラッサ熱						
二類	急性灰白髄炎						
	結核					2	33
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群（SARS）						
	中東呼吸器症候群（MERS）						
	鳥インフルエンザ（H5N1） 鳥インフルエンザ（H7N9）						
三類	コレラ						
	細菌性赤痢						
	腸管出血性大腸菌感染症			1			6
	腸チフス						
	パラチフス						
四類	E型肝炎		1				5
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）						
	A型肝炎						
	エキノコックス症						
	黄熱						
	オウム病						
	オムスク出血熱						
	回帰熱						
	キャサナル森林熱						
	Q熱						
	狂犬病						
	コクシジオイデス症						
	エムボックス(※)						1
	ジカウイルス感染症						
	重症熱性血小板減少症候群						
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎						
	炭疽						
	チクングニア熱						
	つつが虫病						
	デング熱						
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(H5N1及びN7N9を除く)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱						
	日本脳炎						
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	鼻疽						
	ブルセラ症						
	ベネズエラウマ脳炎						
	ヘンドラウイルス感染症						
	発疹チフス						
ポツリヌス症							
マラリア							
野兎病							
ライム病							
リッサウイルス感染症							
リフトバレー熱							
類鼻疽							
レジオネラ症							
レプトスピラ症							
ロッキー山紅斑熱							
							4

※ 令和5年5月26日に「サル痘」から「エムボックス」に感染症法上の名称が変更した。

①-2 全数届出患者数一覧（中野区届出分） 五類感染症

分類	疾病名	47週	48週	49週	50週	51週	2023年 報告数
五類	アメーバ赤痢						1
	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)						
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症						1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)						
	急性脳炎						
	クリプトスポリジウム症						
	クロイツフェルト・ヤコブ病						
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					2
	後天性免疫不全症候群						12
	ジアルジア症						1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症						
	侵襲性髄膜炎菌感染症						
	侵襲性肺炎球菌感染症						1
	水痘(入院例に限る)						
	先天性風しん症候群						
	梅毒		1			1	14
	播種性クリプトコックス症						
	破傷風						
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						
百日咳						2	
風しん							
麻しん							
薬剤耐性アシネトバクター感染症						2	

② 定点把握対象疾患集計（中野区分）

定点種別	疾病名	47週	48週	49週	50週	51週	2023年 報告数
インフルエンザ COVID-19	インフルエンザ	271	254	267	229	240	5211
	新型コロナウイルス感染症(※1)	17	19	24	29	44	2653
小児科	RSウイルス感染症	2	2				96
	咽頭結膜熱	12	13	6	11	8	216
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	67	62	66	46	1211
	感染性胃腸炎	46	84	80	76	69	2331
	水痘		1		6	2	58
	手足口病	6	7	2	4	1	228
	伝染性紅斑						5
	突発性発疹	1	2	1	1	4	137
	ヘルパンギーナ						437
	流行性耳下腺炎						21
	不明発疹症		1				1
	MCLS（川崎病）		1				4
眼科	急性出血性結膜炎						1
	流行性角結膜炎	3	1	1	1	2	33
基幹	細菌性髄膜炎						
	無菌性髄膜炎						
	マイコプラズマ肺炎						
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎(※2)						

※1：令和5年5月8日に新型インフルエンザ等感染症から5類の定点把握対象疾患に変更。

※2：病原体がロタウイルスであるものに限る。

中野区の定点

インフルエンザ/COVID-19定点数	10	10	10	10	10	10
小児科定点数	6	6	6	6	6	6
眼科定点数	1	1	1	1	1	1
基幹病院定点数	0	0	0	0	0	0
性感染症（STI）定点【月報】	2	2	2	2	2	2